

長崎ペーロンに見るスポーツ文化の原風景

講師：熊野 晃三 氏（長崎純心大学名誉教授）



長崎を代表する文化的行事の一つであるペーロン競漕を、地域に根差した土着のスポーツ（エスニックスポーツ）の一種として捉え、その発祥と展開を、中心的なものと周辺（周縁）的なものという関係性を踏まえながら、スポーツ文化の原風景を探ります。

【講師略歴】

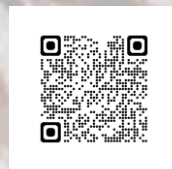
長崎純心大学名誉教授。専門は、体育・スポーツ史、スポーツ人類学。主な著作は、『教養としてのスポーツ人類学』（大修館書店、2004年）、『近代体育スポーツ年表(三訂版)』（大修館書店 1999年）、「長崎ペーロン競漕様式の変容」（『スポーツの歴史と文化の探求』明和出版、2017年）、「長崎ペーロン競漕の変容 — 港内ペーロンの担い手の推移を中心として —」（『純心人文研究』第10号、2004年）、「長崎のペーロン — 競技と伝統の間 —」（『体育の科学』11月号、1998年）、「長崎の外国人居留地におけるスポーツに関する研究 — ボウリング場の開設を中心として —」（『純心人文研究』第3号、1997年）など。

令和8年5月27日（水）18：00～20：00

会場 長崎歴史文化博物館 1階ホール（定員120人、先着順）

入場料無料、要事前申込

電話（長崎市代表・あじさいコール：095-822-8888 ※会場参加分のみ）、
ファックス（長崎市長崎学研究所：095-818-8377 ※チラシ下部の申込事項）、
長崎市役所公式ホームページ（<https://www.city.nagasaki.lg.jp/>）から



【オンラインでも受講可（定員30人）】

参加ご希望の方は、5月25日(月)までにお申込み下さい。（視聴に伴うデータ通信費用は参加者負担。お申込みはホームページが最もスムーズです）。5月26日(火)中に学習会用WEB会議室(Webexを利用)リンク先のアドレスを送信します。

なお、参加は視聴のみで、ご質問やご発言は通信容量の観点からお受けできませんのでご了承下さい。

申込事項	参加場所〔会場・オンライン〕	お名前(フリガナ)	
電話番号		メールアドレス(オンラインの方)	
年代		公開学習会を何で知ったか	